

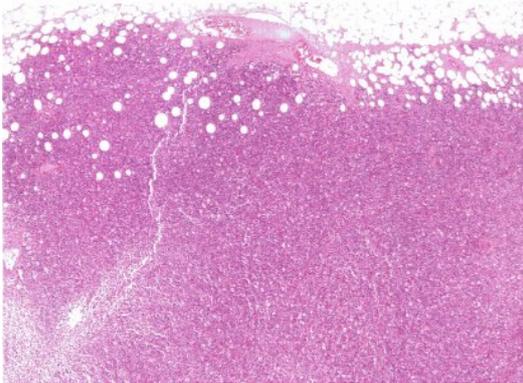
おとの病理検査結果 2006年9月6日

病理組織学的診断: 悪性リンパ腫(Malignant lymphoma)

摘要: びまん性中細胞型の悪性リンパ腫が認められました。

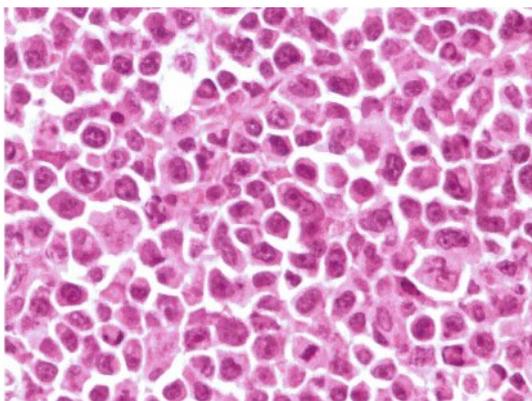
皮下脂肪の細胞組織内を小型腫瘍細胞が特定の配列をとらずにびまん性単調に増殖しています。核小体明瞭で多角性の著名な腫瘍細胞の核は、混在する貧食細胞の核とほぼ同じかわずかに大きい中細胞性で、濃染する細胞質を有しており、核分裂像が散見されています。検索した細胞片にはリンパ節の構造は認められず、腫瘍細胞で置換されて固有構造の完全に破壊された鼠径部リンパ節もしくはリンパ節からの直接浸潤巣が得られていると考えられます。

腫瘍細胞の増生は切除縁に達していますので、局所で再発する可能性があります。多中心性の可能性もありますので、脾や骨髄を含めた前進のリンパ系組織をご精査いただくとともに末梢血もご確認ください。



悪性リンパ腫 20倍

皮下の脂肪織内を小型腫瘍細胞が特定の配列をとらずにびまん性単調に増殖



悪性リンパ腫 400倍

核小体明瞭で多角性の著名な腫瘍細胞の核は、混在する貧食細胞の核とほぼ同じかわずかに大きく、濃染する細胞質を有しており、核分裂像が散見される

この文書は、フェレットの病気について理解を深めるために、Cinnamons.jp が差し支えの無い範囲で再編集したものです。著作権者に許可無く再配布および営利目的の使用は堅く禁止いたします。

なお、この文書の内容の著作権については、本来は原著作権者である検査機関および作成した獣医師に帰属しますが、諸般の事情により明記できないため、都合上、著作権表示は編集・配布者である Cinnamons.jp としております。